

おおさか

発行所: 大阪府看護連盟

〒536-0014

大阪市城東区鳴野西2丁目5番25号

ナーシングアート大阪

電話 06-6964-5655

FAX 06-6964-5665

発行人: 前川 マキコ

発行日: 平成20年6月13日

印刷所: 新栄印刷

No.08-3(通-35)

特集

平成20年度 通常総会開催

6月20日(金) ナーシングアート大阪にて



「蝶とアザミ」 写真撮影者 小阪佳代氏

平成20年度 連盟総会に想う 2	平成20年度 予算(案) 6
平成20年度 通常総会プログラム 3	平成20年度 役員候補(案) 7
平成20年度 スローガン(案) 4	支部長退任の挨拶 7
活動計画(案) 4~5	“あべ俊子” 合同交流会に参加して 8



平成20年 連盟総会に想う

～若い世代も共に声のとどく環境を～

大阪府看護連盟会長 **前川 マキコ**

緑の美しい季節に、ヤマモモが可憐な実をつけています。

多くの新人看護師を受け入れ、臨床で頑張る姿を想像しながらいい環境で仕事が続けられるように願う日々。

日頃は何かと連盟活動にお力を頂き有難うございます。

中国四川大地震の報道に一日も早い復興と健康を祈りつつ、自然の驚異になんと無力な私たち。日々の報道も、社会環境の変化といえますのか、社会性の欠如といえますのか、考えられない事件の報道、さらに名門料亭の廃業は信用の大事な2文字を失い、信じられない内部事情に胸を痛めつつ。

看護の世界はと自問しつつ、外国からの看護師、介護師の受入れも受け止め、第21回の参議院選挙も振り返り同じ失敗をしないために、どうすればいいか反省ばかりしていても前には進めないが、声のとどく意見の交換がしやすい環境を考えて行動に移したいと想います。

第1に小さな支部にして声が届く組織にしたい

第2に看護協会の政策を実現するために組織力を強めたい。

第3に若い世代が興味を持つ研修や集会を

するなど、連盟役員は頭をつき合わせ悩みつつ頑張っています。総会に参加してください、一緒に考えませんか。

基礎研修もスタートしています。会員の皆様も是非参加して学んでください、そして理解して頑張りましょう。未来に希望が。



2008. 4. 19 Tomo

平成20年度 大阪府看護連盟 通常総会プログラム

日 時 平成20年6月20日(金) 13:30~16:30
 会 場 ナーシングアート大阪 3階 レモンホール

第一部

- 12:45 開 場
- 13:20 オリエンテーション
- 13:30 開 会
 物故会員への黙とう
 挨拶 大阪府看護連盟会長
 来賓挨拶・来賓紹介・祝電披露
- 14:10 議長団選出
 ●平成19年度看護連盟通常総会議事録朗読
 経過報告 ●全国会長会・臨時全国会長会
 ●全国会長・都道府県役員・支部長合同会議
 ●都道府県看護協会・看護連盟合同会議
 ●ブロック別都道府県会長会議
 ●大阪府看護連盟役員会
 ●平成19年度活動報告・支部活動報告
 ●平成19年度決算・監査報告
- 審議事項 ●平成20年度スローガン(案)
 ●平成20年度活動計画(案)
 ●平成20年度収支予算(案)
 ●平成20年度役員選出(案)
 新役員紹介および旧役員代表挨拶
- 綱領宣言
 連盟の歌斉唱
- 15:30 閉 会

第二部

- 15:35 自由民主党大阪府看護連盟支部総会報告
 閉 会
- 15:45 終 了

第三部

- 15:50 ポリナビワークショップ
 第1回 ポリナビワークショップから
- 16:30 終 了

第一号議案 平成20年度 スローガン(案)

**看護政策の実現をめざして
ベツトサイドから政治を変えよう**

第二号議案 平成20年度 活動計画(案)

項目	目 標	活 動	手 段・内 容
政治力の強化	政策実現	1) 関連情報を速やかに入手し会員へ伝達する 2) 看護協会とともに陳情・要望活動を実施する 3) 看護を支援する国会・地方議員との日常関係を強化する 4) 現場の声を本部を通して国会・地方議員に伝える	・看護協会との連携、情報交換、機関紙の配布 ・大阪府、大阪市、国会議員・地方議員・その他団体への要望や陳情活動の実施 ・選挙応援や看護を考える地方議員の会との連携 ・「現場の声を聞かせてください」の収集報告
	議会への影響力の強化	1) 第22回参議院議員選挙に向けた活動を行う 2) 次期衆議院議員選挙に向けた体制を整備する 3) 関係団体との連携を強化する 4) <u>大都市対策を進め、会員数を増やす</u>	・候補予定者の周知 ・活動方針の周知 ・都道府県役員と支部役員・リーダーとの連携強化 ・ <u>全施設代表者訪問</u> ・看護を考える地方議員の会との連携 ・ミニ研修・施設支部の拡大 ・ <u>基礎研修</u>
	国会への影響力を強める	1) 国会議員との勉強会を実施する 2) 看護技術者対策議員連盟への対応を強化する 3) 国会議員の主催する会合へ出席する 4) 看護連盟主催の研修会へ招待する	・国会議員の開催する国政報告会や研修会への参加 ・看護連総会への参加 ・総会への招待 ・互礼会への案内
	地方議員への影響力を強める	1) 「看護を考える地方議員の会」の連携を強化する 2) 地方議員主催の会合・研修会へ出席する	・看護問題について勉強会や意見交換会 ・会合・研修会への出席
組織の強化・拡大	4. 中長期的視点に立ち議員候補者を育成する	1) <u>看護連盟政治アカデミーへの適任者の推薦と支援</u>	・適任者の推薦・支援 ・ <u>修了生による研修</u>
	1. リフォーム連盟に基く組織体制の確立	1) 会員活動を支部中心とし、会員を増やし、一人ひとりの活動を強化する 2) <u>支部数を増加しきめ細かな支部活動を進める</u> 3) <u>会員の年齢層別組織の活動を検討し若年層より活動を開始する</u> 4) OB会や施設代表者会の充実・定着を進める	・会員獲得活動の定着 ・会員目標(9,000人) ・ <u>都道府県役員・支部役員・リーダーとの連携</u> ・支部役員を含めた拡大役員会を年2回開催 ・施設支部の拡大 ・ <u>若年層を対象とした基礎研修</u> ・情報交換・研修
	2. 20歳台会員の育成	1) <u>ポリナビワークショップへの参加と支援</u>	・ <u>若年層の参加・支援</u>
	3. 連盟への理解者を増やす	1) 他団体との連携強化	意見交換

項目	目 標	活 動	手 段・内 容	
組織の強化・拡大	活 発 な 情 報 流 通	1. 会員の意見を政策提言に活用する	1) 「現場の声を聞かせてください」を集める 2) 機関紙（おおさか）に各支部会員の声を集め掲載する	研修後の記載・回収を徹底
		2. 会員及び看護職に対する広報活動を推進する	1) 機関紙を発行する 2) HPを開設する 3) 連盟に対する会員の理解を深める 4) 政治・選挙に関する会員の理解を深め行動する会員をつくる 5) 看護職議員の活動を周知させる	<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙年3回（4月・6月・1月）発行 ・HP広報の充実 ・連盟紹介のCDの活用、その他各種グッズの活用 ・看護協会作成のCDの活用 ・施設訪問、研修 ・各支部議員事務所との連携 ・国政報告の開催、議員事務所との連携、機関紙への掲載
組織の適正な運営管理	知 識 の 普 及 ・ 啓 発	1. 研修会活動を積極的に推進する	1) 支部が中心となり研修会を積極的に開催する 2) 都道府県は支部でできない研修を開催する 3) 若手会員選挙参加促進のための研修会を開催する 4) 支部役員が基礎研修講師として活動できるように育成研修の実施 5) 会員基礎研修の実施 6) 看護管理者が会議へ看護の代表者送ることの意義を理解し組織活動を進展できるようにするための研修会を開催する 7) 教師が看護政策を基礎教育で教育できるように働きかける	支部研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県研修会開催 ・新人研修・管理者研修（本部プログラムに基づき都道府県で開催）など ・基礎研修 本部プログラム <ul style="list-style-type: none"> ・看護教育者セミナー（8/21/24） ・支部役員徹底研修（8/910/18） ・基礎研修講師育成研修（6/611/6） （本部総会時・都道府県別会議時）
		2. 事務局の運営を適正に行う	1) 会員を適正に管理する 2) 財政を適正に管理する 3) 職員を適正に管理する	<ul style="list-style-type: none"> ・会員管理システムの推進 ・20年都道府県システムスタート
会員の福祉	1. 慶弔への対応	1) 規約に基づき対応する	<ul style="list-style-type: none"> ・災害見舞い・物故者への慶弔 ・お祝い・その他 	
	2. 諸問題への対応	1) 専門家と相談の上、速やかに問題解決する	<ul style="list-style-type: none"> ・自由民主党弁護士団との連携 	

第三号議案 平成20年度 収支予算(案)

自 平成20年4月1日
至 平成21年3月31日

(収入の部)

(単位：円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	差 額	備 考
I 会 費	27,000,000	27,000,000	0	@3,000×9,000人
II 賛 助 会 費	200,000	200,000	0	@1,000×200人
III 研 修 会 会 費	1,000,000	1,000,000	0	
IV 助 成 金	14,800,000	16,550,000	△1,750,000	
V 広 告 料	100,000	200,000	△100,000	
VI 雑 収 入	1,000	200	800	
当期収入合計(A)	43,101,000	44,950,200	△1,849,200	
前期繰越収支差額	20,908,087	18,287,747	2,620,340	
収入合計(B)	64,009,087	63,237,947	771,140	

(支出の部)

項 目	予 算 額	前年度予算額	差 額	備 考
I 会 議 費	3,650,000	3,600,000	50,000	
総 会 費	1,350,000	1,300,000	50,000	年1回
役 員 会 費	2,300,000	2,300,000	0	
II 事 業 費	41,000,000	40,250,000	750,000	
機 関 紙 発 行 費	3,500,000	3,500,000	0	会報3回
活 動 費	23,000,000	24,700,000	△1,700,000	
教 育 費	5,000,000	3,500,000	1,500,000	研修会10回
組 織 対 策 費	9,500,000	8,550,000	950,000	支部活動助成金
III 運 営 維 持 費	19,300,000	18,000,000	1,300,000	
人 件 費	15,000,000	14,500,000	500,000	
需 給 費	4,300,000	3,500,000	800,000	
IV 予 備 費	59,087	1,387,947	△1,328,860	
当期支出合計(C)	64,009,087	63,237,947	771,140	
当期収支差額(A)-(C)	△20,908,087	△18,287,747	△2,620,340	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	0	0	

第四号議案

役員選出

平成20年度 改選役員候補(案)

会 長	前 川 マキコ	府北東支部長	島 崎 ひろみ
副 会 長	小 阪 佳 代	府 東 支 部 長	小 畑 近 雄
幹 事	豊 田 百合子	堺 支 部 長	山 岡 琴 美
幹 事	小瀬利 章 子	泉 南 支 部 長	原 知 子
幹 事	岩 本 尹 子	市 北 支 部 長	交 渉 中
幹 事	橋 口 富 枝	市 西 支 部 長	交 渉 中
幹 事	津 山 寿 子	府 南 支 部 長	中 島 陽 子
幹 事	白 川 美保子	協 和 会 支 部 長	城 島 理 子
監 事	南 孝 美	船員保険支部長	前 川 テル子

支部長退任の挨拶

看護連盟市西・船員保険支部長 藤野美代子

平成17年6月に市西支部長を拝命し、早3年目を迎えました。

このたび任期を3ヶ月残し私事で支部長を辞任させていただくことになり、一言ご挨拶をさせていただきます。

リフォーム連盟を基盤にまた参議院選挙に向けて大きな使命を背負いながら、この3年間の活動を振り返ってみますと、刺激的な変化にとんだ楽しい活動でした。何が一番刺激的であったかといえば、前川会長はじめ他支部の支部長さんの前向きな連盟に対する情熱を感じたことです。何かしなければいけない、と強く心に刻み込まれたこの3年間でした。また市西役員協力の協力体制はずばらしく、2ヶ月に一回の役員会はほとんど欠席がありませんでした。役員は忙しい業務の中、いろいろな意見を出し合い前向きに取り組めたことに感謝します。

参院選でなんといっても結果を出さなくてはなりません。強力なネットワークを作るために、船員保険支部を立ち上げましたが、後に続いていただきたいと切に願っています。

最後になりましたが、前川会長はじめ皆様の多くのご指導ご協力をいただきましたこと感謝いたします。大阪府看護連盟のますますの発展を願いながら、私も他府県で連盟の活動を支えていきたいと思っています。ありがとうございました。



前 藤野支部長 書 (平成20年 初春)

府北東支部長 島崎ひろみ

あべ俊子「合同交流研修会(拡大活動)」に参加して

～“誰じゃそん人は”から“応援してやる”に至るまで～

今回、合同交流拡大活動に大阪府代表として“無理”があるも通称若者3名(山岡・加戸・島崎)が2008.5.16日から17日、一泊2日、岡山県美作に行ってきました。

大阪を出発し10:30に岡山県あべ後援会事務所着、その後、簡単なオリエンテーションをうけた後、ユニホームであるオレンジ色のジャンパーとパンフレット、訪問先の地図等の配布と、準備された事務所の車に乗り込み訪問先の村に行きました。

1日目の村、全軒数55軒・2日目の村、全軒数37軒、合計92軒の全ての、訪問先を訪ねました。

大阪育ちの私にとっては衝撃的な体験でした。訪問宅に行くには山から山と急な上り坂を繰り返し、1軒宅から次の1軒宅までの距離が長く個々の家の敷地が広く、玄関先までの道がわかり難くやっとの思いで辿り着いた訪問先で『衆議院議員あべ俊子の事務所の者です』と自己紹介すると『誰じゃそん人は? 知らん顔も見たことない、挨拶がない、誰がなっても同じ、何してくれたんじゃ…等など』の反応が返って来ました。

『私たちは看護師である』ここは看護の場面、じっくり話しを聞き相手の気持ちに共感することであると3人の気持ちを統一し、住民個々の反応を見ながら、あべ先生の経歴や活動などについてパンフレットを手渡

しながら説明を行うと同時に“大阪から応援来た、同じ目的を持つ看護師仲間である”ことを伝え、大阪府看護連盟の名刺を渡し自己紹介をしていきました。

『わった応援してやる、頑張りなや 等…』良い反応を徐々に得ることが出来ました。

また、訪問で挨拶終了後、地元応援者の方々とのお話し合いに参加して感じたことは、地域の方々、多くの人にあべ先生は支えられて活動をしていることを知ると共に応援者の皆様に感謝の気持ちで胸が熱くになりました。

今後、更にあべ先生の名前を地域の人達に知って頂くためには、幹線道路のポスターを始め、町会、村など現在ない場所への設置を含め枚数を増やして行く、薄く色あせているポスターを更新していく、政策活動のアピールとして村の人たちの期待していた、村おこしや農業など住民の声を謳っていく必要があると思いました。しかし、何よりも私たち看護師がもっともっと岡山県看護師との連携を保ち、今後も住民の方々へのお願いの訪問を途切れることなく継続して行くことやその他の活動に協力しながら、個々の看護師が頑張らなくてはと思いました。今回、この様な貴重な体験をさせて頂きましたことに深く感謝致します。有難う御座いました。

今回は平成20年度通常総会号です。会員皆様多数のご参加をお待ち致します。

先日5月31日「看護管理者セミナー」第1回が大阪看護協会と連盟共催で開催され、時間は何時もの研修会とはちがいで16時45分からと遅い時間帯でしたが、69名の出席があり講師の大島敏子先生の話術に引き込まれて時間が過ぎてしまった。時間が短く感じられたなどの反応がありました。研修後のアンケートでも98%の方が「研修の意図がよく理解できた」と回答されていました。第2回トップセミナーにも多数参加して下さい。次の世代を担う若い人の参加も歓迎します。

5月4日(水)朝8時台、NHKの「生活ほっとモーニング」は「がん対策基本法」を取り上げていましたが、この中で患者自身の自主的、積極的活動が法律の制定をもたらした経緯が報じられていました。そして「法律の制定がなければ何も変わらない!」この法律が制定されたのは「患者の声が結集した成果である」と語られた関係者の言葉が印象的でした。

そうだ! 准看護制度廃止も看護職の地位向上も自分達の問題として“現場から、ベッドサイドから生の声を届けること”そのために先ず私達自身の代表を「看護職の中から押し出すことが先決だ!」と一人額いた次第です。

編集後記